

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成 2 年退官 1958 年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

蛙ヶ丸・大室山－新緑とシロヤシオツツジ－



蛙ヶ丸(善六ノ沢から)

5 月下旬の週末、西丹沢の蛙ヶ丸（1293m）から加入道山経由で大室山（1508m）を歩いた。途中、加入道避難小屋 1 泊のロングコースである。

西丹沢自然教室を 10 時出発で、西沢をツメて蛙ヶ丸に向かう。朝の西丹沢行きバスは超満員だったが、蛙ヶ丸へ向かう客は何人もいない。それだけ玄人向きの地味な山ということか。



本棚

10 時 55 分本棚分岐。左の岩壁をへっつって 5 分程這い進んだ奥に、高さ 50m の本棚と 120m のカラ棚が向かい合い、瀑音轟く井戸底の様な辺り一帯にシブキが霧になって立ちこめていた。

本棚分岐に戻ると、ルートは沢を離れて尾根のジグザグ登りになる。まさに脳味噌が洗われる感じの新緑の海に全身を浸しての登行である。時折、シロヤシオツツジがトンネルのように登山路を覆う。この辺りのシロヤシオツツジは今が真っ盛りである。



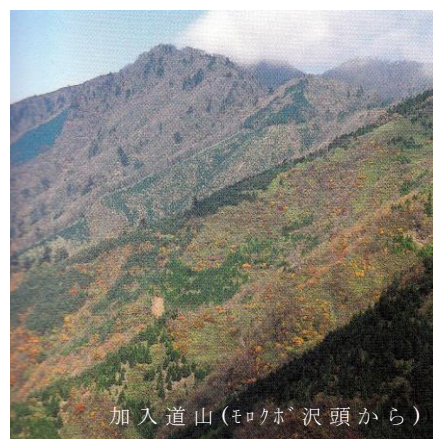
シロヤシオツツジ

12 時 40 分、ブナ林に囲まれた静かな蛙ヶ丸山頂到着。先客数組に交ざってオシャベリに興じながら、弁当を広げた。13 時 20 分出発。さすがに加入道山方向に向かう酔狂な客は小生 1 人だけ。本峰からの急な下りをこなした後は、ゆったりとした登り下りの連続する尾根歩き。森閑としたブナ林の中は物音一つ無く、深遠な山のムードを満喫しながらの一人旅である。13 時 40 分モロクボ沢ノ頭。14 時バン木ノ頭。15 時半水晶沢ノ頭。15 時 50 分白石峠。16 時 20 分加入道山到着。

加入道山の山頂広場から一段下がった所の避難小屋が今晚のネグラである。訪

れる人一人いない静かな旅の宿。夕食を済ませて早々に寝袋に潜りこんだ。風もない夜のしじまに、遠く鹿の鳴き声だけが、物悲しく響いて聞こえた。

翌朝 6 時出発で大室山に登る。コバイケイソウの大群生地を縫う木道を辿り、大室山頂到着は 7 時。下山は、犬越路から用木沢を下り、用木沢出合からは車道をテクテク歩いて 11 時、西丹沢自然教室のバス停に帰り着いた。そして帰路は例の如く中川温泉に途中下車し、風呂とビールの定番で締めた。



加入道山(モロクボ沢頭から)